眼科

【1】研修プログラムの目的と特徴

眼科臨床医に求められる基本診療に必要な知識、技能、態度を習得する。

【2】一般目標：GIO(General Instructional Objective)

基本的な眼科学的検査法を習得し、診断や治療技術を学ぶ。視覚障害者の診療、介助、誘導を通して眼科の特徴を理解する。

【3】行動目標：SBOs（Specific Behavioral Objectives）

1. 視覚障害者の誘導、介助が適切にできる。【技能】
2. 病歴を正確に聴取し、記載することができる。【技能・態度】
3. 屈折、視力測定、視野検査を行い、視機能を評価できる。【技能】
4. 細隙燈顕微鏡検査、眼底検査、眼底写真撮影などの基本的な眼科検診を行い、所見を記載することができる。【技能】
5. 代表的な眼科疾患について説明できる。【知識・態度】
6. 主な眼科救急疾患の初期治療ができる。【技能】
7. 眼科マイクロサージャリーの基本手技を習得できる。【技能】

【4】方略(Learning Strategies)

LS	方法	SBOs	実施場所	媒体	人的資源	時間	時期
1	実技研修	1～6	眼科外来	臨床実技	指導医、視脳訓練士	5 時間	月曜、金曜、木曜午前
2	病棟研修	1、4	病棟	臨床実技	指導医、看護師	2 時間	木曜
3	実技研修	3, 4	眼科外来 眼科検査室	視野計 眼底カメラ	指導医	3 時間	月曜、金曜、木曜午前
4	SGD	2～5	カンファレンス	プリント	指導医	30 分	木曜午後
5	実技研修	7	手術室	臨床研修実習	指導医、看護師	3 時間	木曜午後

【5】教育評価(Educational Evaluation)

SBOs	目的	対象	測定者	時期	方法
1～4, 6	形成的	態度、知識	指導医・看護師 視能訓練士	研修中	観察記録
2～5	形成的	態度、知識	指導医	研修終了時	レポート
7	形成的	態度	指導医	研修中	観察記録

【6】教育に関する行事　1 か月の救急ローテーション時

8:30　9:00　10:00　11:00　12:00　13:00　14;00　15:00　16:00　17;00　18:00

月	外来、検査、処置、手術同意書
火	他科研修
水	千厩病院外来

木	千厩病院外来	手術など
金	病棟回診、外来、検査、処置、手術同意書	

【7】研修内容・方法

1. 研修医は指導医のもとで外来、病棟にて診療を行い、指導医は研修期間や習得状況にあわせて検査や診療のレベルを変更する。
2. 眼圧計等の使用方法を学び、救急疾患に対応できる知識・技能を身につける。
3. 週１回の手術日には、可能な限り手術助手を行い顕微鏡手術を経験する。
4. 病棟回診を科長と共に行い、入院患者の診察、処置を経験する。

【8】指導責任者

指導責任者:大久保　雅俊

指導医名	役職	卒業年	主な資格など	臨床研修指導医
大久保　雅俊 （おおくぼ　まさとし）	眼科医長	2010 年		

【9】2015 年実績

手術件数　131 件